

建設業年末年始労働災害防止強調期間 及び 建設業歳末ゼロ災運動を展開中

12月1日から1月15日まで建設業年末年始労働災害防止強調期間として建設業歳末ゼロ災運動を展開中です。

年末は公私ともに気忙しくなり気の緩みや焦りから労働災害が多発する期間です。また年始は休みを経て体調管理が難しくなり集中力が途切れて事故や怪我が多くなります。

すべての皆様方が無事故で年末を終えられ明るい正月を迎えられますように**災害防止の重点実施8項目**を掲げて活動する事としました。

冬季重点安全対策実施項目

- i 積雪や凍結による転倒・墜落災害の防止
- ii 積雪や凍結路面におけるスリップ事故の防止
- iii 火災予防及び火気使用場所における酸欠事故の防止
- iv 積雪地での雪崩や斜面崩壊事故の防止
- v インフルエンザの蔓延防止と作業場所の寒冷対策の実施
- vi 休暇時の見回りと第三者の侵入防止の徹底
- vii 資機材や現場事務所の盗難防止
- viii 強風による資機材の飛散防止

5日に行われました月安全大会では浅野達彦君の音頭で安全宣言が読み上げられ参加者全員でゼロ災で頑張ろうのシュプレヒコールが浅川建設に響き渡りました。



社長あいさつ



ラジオ体操

協力会社の皆様にも趣旨をご理解いただき無事故無災害にご協力をいただきますようお願いいたします。



安全宣言

浅野達彦君の安全宣言本文

私たちが従事している建設業は常に危険と隣り合わせで工事を進めています。ですが怪我や災害のニュースを聞いてもどこか他人事のような気がしていました。自分は大丈夫だと根拠のない自信もありました。しかし、身近でしかも知人が命を落としたと聞くと他人事ではいけないという思いに駆られました。死亡事故のあった現場だけでなく南信森林管理署の工事はすべて10日間ほどストップして現場の総点検をしたと聞きます。このような事が起こる前に対策は取れなかったものかと悔やまれます。

ここにいる皆さんも今一度真剣に安全について考え直してみましよう。

安心して作業ができる環境を作り、確認しながら維持する。こんな当たり前の事が守られる現場であってほしいと思います。安全に手抜きは許されません。

年の瀬を迎え現場も忙しくなりますが、しっかりと安全作業を行なって明るいお正月を迎えるためにみんなで頑張りましよう。

また寒さが増す時期ですが手袋等で防寒していただき、ポケットに手を入れて現場を歩くことはぜひやめていただきたい。こんなちょっとしたことから無事故につなげていきたいと思っておりますので重ねてお願いいたします。

日に日に寒さが厳しくなっていますが体調管理に気をつけていただき明るいお正月をみんなで迎えましよう。

